

やさしさと・・・ぬくもりと・・・ほほえみと・・・

# 和寒町特別養護老人ホーム 芳生苑 和寒町短期入所サービスセンター 芳生苑

## 令和2年度 運営計画書

和寒町特別養護老人ホーム芳生苑は、3本のスローガン「利用者の笑顔があふれる安らげる場を提供します。」「温かい手、温かい心でサービスを提供します。」「住民から信頼される施設を目指します。」に基づいた施設運営を目指します。

介護に携わるプロとしてご利用者ご家族に満足していただけるケアを、自信を持って提供していきます。

ご利用者とともに笑い合い、喜び合い、関係性を深めながら、日々の生活を心穏やかに過ごしていただけるよう支援していきます。

### (1) 基本理念

- 1 高齢者自身が喜びに満ち生活意欲が培われる場、共に助け合いながら安心して生活できる場として、施設の役割を意識し、環境や体制を万全に整えてまいります。
- 2 ご利用者やご家族、地域から求められる多大なニーズに応え、より良いサービスを提供していきます。
- 3 地域高齢者福祉の一翼を担う施設として常に向上意欲を持ちながら、施設の持つ人的、物的資源を最大限に提供し地域福祉に貢献していきます。

### (2) 令和2年度 目標

#### ご利用者様へよりよいケアをするために『気づきを築く』

私達は、ご利用者様へのケア、そして関わる全ての職務に関して、付加価値をつけることができるよう、「興味、疑問、探究心」を常に持ち、受け身ではなく積極的に行動します。

私達は、いつもご利用者様の思いに寄り添い、安心して私達存在を受け入れ、関わらせていただけるよう丁寧に日々の取り組みを継続します。

### (3) 令和2年度運営方針

#### I 本人本位のケアの継続

#### II 重度化対応

#### III 安定した運営

##### I 本人本位のケアの継続

私たちは、本人の尊厳を保持し能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようサービスを提供するという介護保険の目的を忘れず、これからも『動き出しはご本人から』の介護実践を継続し、介護技術のみならず全てのケアにおいて本人本位の考え方を基本にすすめていきます。

##### 1.『動き出しはご本人から』の介護現場実践の定期開催

※介護技術向上委員会活動を通じての職員育成体制の構築

※施設内実践報告会「頑張った大賞」の継続実施（学んだ知識をアウトプットすることで知識の定着を図る、新しい価値を創造する力を身につける）

##### 2.『スマイルプラン』の継続実施

※ご利用者様一人ひとりの希望に添った行事への取り組み

##### 3.自立支援のための福祉用具の購入

①個別昇降テーブル ②据置手すり（在宅用） ③低床ベッド・自走式車椅子 など

##### II 重度化対応

平成27年度から原則要介護3以上の入所という特養重度化で、よりスタッフ個々人のスキルアップが必要とされています。要介護3以上で入所しても、体調良く生活していただくためには施設スタッフ全体での連携が大切です。ONE TEAMでその人らしい生活を支援します。

##### 1.施設内外各種研修会の受講

①認知症介護実践者研修・ユニットリーダー研修の受講

②重度化対応・重症化予防研修の受講

③内部研修

※ご利用者様の状態を把握する力、変化に気づく力、それを報告・連絡・相談する力をつける事に重点を置く。

##### III 安定した運営

安定した施設運営のためには、コスト意識を高める必要があります。現在使用している物品等で無駄に使用していないか、節約の意識を持って業務にあたっていく必要があります。

また、運営をしていくための人的資源の確保、育成、定着を図っていくための取り組みに力を入れます。

近年、気象状況の変化に伴う大雨洪水の危険、地震による大規模停電などの災害が発生しております。今の所当施設への直接的被害はありませんが、非常災害発生時に人命を最優先とし、被害を最小限に抑えることができるよう、適切な対応を図ることができるように取り組んでまいります。

##### 1.経営安定のための取り組み

- ①利用者数の増加と稼働率の向上
- ②業務運営効率化による経営改善の取り組み～介護用品・消耗品費用などの分析・検討

## 2.人材確保・育成・定着

- ①採用の取り組み～ホームページ内採用エントリーページの創設、就職説明会、ハローワーク活用
- ②実習生の受け入れ(介護福祉士・社会福祉士・栄養士等)。合わせて、福祉関係学校の実態把握
- ③人材の定着の為の取り組み～メンタルヘルスケアの実施・職員育成・エルダー制度

## 3.災害等の備え

- ①防災訓練の実施（避難誘導訓練・通報訓練・自然災害想定訓練）
- ②防災用品・災害備蓄品の購入、点検、補充
- ③災害・食中毒発生時の具体的な食事提供体制の整備（マニュアル作成）

## (4) 事業内容

### 【委員会活動】

スタッフ各々が、意識を高め、考え、行動し、ご利用者本人の意向を尊重した活動となるように努めます。共有すべき情報がスムーズに伝達するようチームプレーで活動を展開し、職種間の連携を徹底します。

委員会活動では、スタッフが目的意識を持ち、現場実践及び研修などの活動内容を計画し、適時評価を行いながら、自己研鑽を深め、ケアの向上等につなげます。

### ★虐待防止検討委員会・身体拘束適正化委員会

目標： 私達全職員は常にご利用者の立場に立ち尊厳を守り、安心した生活が送れるよう適切なケアに努めます。

不適切なケア（グレイゾーン）など虐待の芽を発見した場合は、原因分析、対策を講じ、虐待が発生する事のない施設、ご利用者主体のサービスに努めます。

ご本人らしい生活が送れるよう、虐待防止や身体拘束廃止、人権、認知症に関する研修にも積極的に参加し、法律や知識等を学び施設全体で虐待防止への意識向上に努めます。

ご利用者の人権を尊重し、拘束が及ぼす身体や精神への影響について理解を深め、一人ひとりが身体拘束をなくしていこうという姿勢を持って取り組みます。

スタッフは、職業人としての倫理や道徳を常に振り返り、ご利用者へ思いやりの心を持ち、介護に関わる者としての役割を果たしていきます。

職員のストレスが、不適切なケアの要因になりえることから、「ストレスチェック」を通してストレス等の把握や軽減に努めます。また、お互いの意思を尊重し、言いたいことを言い合える風通しの良い職場環境を構築します。

私達職員は、身体状況において拘束が必要な場合においては、切迫性、非代替性、一時性の 3つの要件を十分に検討した上で、ご家族の了解を得て慎重に判断いたします。

	事業	内容	頻度
活動内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	職員全体研修	・虐待防止、拘束廃止、権利擁護等	年 1～2 回
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年 1～2 回

## ★ヒヤリはっと事故対策委員会

目標：私たちは、安全かつ安心できる生活の支援のために日々のケアに緊張感を持ち、ご利用者様の生活観や価値観を理解する事で信頼関係を築き、その人らしい生活を実現するための課題分析をしっかりと行います。

日々のご利用者様への支援の中でリスクを明らかにし、施設全体で統一した対応を周知徹底し再発防止に努めます。

※「ヒヤリはっと」の事象から事故発生へ展開する可能性が考えられるため、ヒヤリとした時からしっかり検証のうえ対処し未然に事故を防ぎます。

事故発生時には迅速に情報共有を図れるように、日頃から報告・連絡・相談体制を徹底し職員間の連携に努めます。事故事例は、類似事案が再発しないよう繰り返し検討し、ご利用者様やご家族様に対して迅速で誠意ある対応に心がけます。

※ヒヤリはっと～重大な事故は起こらないものの、事故に直結してもおかしくない事例の発見のこと

	事業	内容	頻度
活動内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	職員全体研修	・虐待防止・拘束廃止・権利擁護等	年1～2回
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年1～2回
	事故防止対策	・事故防止、再発防止策の周知 ・報告書の管理・介護機器点検、管理	随時

## ★介護技術向上委員会（動き出しはご本人から）

目標：「動き出しはご本人から」の活動を通じご利用者様の理解を深め、信頼関係を構築しながら、ご利用者様の「動き出し」を尊重した介護技術を身につけます。

専門の講師を定期的にお招きし、継続性を持って取り組みを進め、「動き出し」の技術習得を目指します。

また、この委員会はリーダー職以上で構成し「動き出し」の技術を習得、他の介護員に対し指導する力を身に着けます。また、その取り組みを振り返り、成果を発信することでさらに学びを深めていきます。

	事業	内容	頻度
活動内容	検討委員会	・事例検討・現場実践評価	現場実践時
	介護実技研修	・現場実践（外部講師）	年4回
		・現場実践（自主研修）	年1～2回
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年1～2回
介護技術 OJT	・リーダー職からの現場内介護技術指導	適宜	

※OJTとは、On the Job Training(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)の略。職場の上司や先輩が、部下や後輩に対して、実際の仕事を通じて指導し、知識、技術などを身に付けさせる教育方法

### ★認知症ケア検討委員会

目標： ご利用者様が安心して生活できるよう、ご利用者様の立場に立ち認知症という病気の特徴や症状の理解を深めるとともに生活環境面にも配慮し、ご利用者様にあったケアの対応方法の検討に努め、他職種との連携を徹底します。

ご利用者様の心身状態の安定が図れるよう、ご利用者様の心に寄り添いながらささいな仕草にも目を配り、適切な対応ができるように職員同士で情報共有しケアにあたります。

	事業	内容	頻度
活動 内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	職員全体研修	・認知症の理解、見方、捉え方	年1回
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年1回
	認知症カフェ	・健楽苑参観日等	年1回程度
	認知症ケアに関すること	・認知症ケアに関する記事の配布 ・認知症ケア方法の提案	適宜

### ★感染症検討委員会

目標： 感染症に関する学習・研修及び、地域の流行状況などを収集して職員全体に周知徹底を図り、1介助1手洗いを基本におき、高齢者施設として遵守すべき標準的な感染予防を行います。

職員一人ひとりが感染症に対する知識を持ち集団感染対策を徹底し、新たな感染症などについても常に意識しながらケアにあたり感染予防に努めます。

医療従事者の指示により予防及び発症時には、適切かつ的確な対応を行います。

	事業	内容	頻度
活動 内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	職員全体研修	・感染症予防について	必要時
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年1~2回
	情報発信・提供	・各種行事、日頃からの感染予防注意喚起	毎時
	感染予防用品・環境 整備用品の管理	・施設内環境の清潔維持、清掃、整理整頓 ・マスク、嘔吐物処理セット、アルコール、ハンドソープ、グローブ等の確認、補充 ・加湿器、扇風機等の管理	適宜

### ★広報企画検討委員会

目標： 芳生苑三大大行事（夏まつり、敬老会、クリスマス会）の計画立案、準備、開催などを他職種と連携しスムーズに実施します。

また、季節を感じていただけるような施設内のしつらえの工夫や行事の計画・実施、個々の趣味にあった余暇活動を提供します。

施設内のご利用者様の暮らしをご家族の方々に伝えられるよう「苑だより」を定期的に発行します。

ご利用者様一人ひとりの『想いをくみ取り希望を叶える Smile プラン』を作成しご本人の想いや希望をできるだけ叶える個別ケアの取り組みをすすめます。

	事業	内容	頻度
活動内容	企画検討委員会	・各種行事实行委員会	随時
	サービス担当者会議	・Smile プランの検討	毎月
	季節のしつらえ	・季節感を取り入れ施設内をしつらえる	季節毎
	苑だよりの発行	・年 3 回、苑だよりを作成・発行する	4,8,12 月

### ★食事検討委員会

目標： 食べることは生きる喜びや楽しみでもあります。メニューや食形態などにも工夫を凝らし、食事の時間が楽しいひとときになるように努めていきます。

摂食障害、ターミナル期にある方などに対しては、個別に合わせた食事を提供します。

栄養ケアマネジメントを行い、ご利用者様の食欲増進・健康維持につながるよう努めていきます。

食前には嚥下体操を行い、飲み込みの機能を維持できるように取り組んでいきます。

食後には、口元、手指、口腔内を清潔に保ち、病気を予防し、全身の健康保持に努めていきます。

	事業	内容	頻度
活動内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年 1 回
	食事ケアに関する事	・食事環境(食席等)の検討 ・食事形態、介護用食器、咀嚼、嚥下、食事姿勢・動作など食事ケア全般の知識の習得・発信	適宜
	口腔ケアに関する事	・口腔ケア方法の検討 ・義歯の管理・口腔ケア用品の管理	適宜
	給食に関する事	・献立や食事形態、提供方法の検討	毎月

### ★排泄検討委員会

目標： ご利用者様個々の尊厳を尊重し、常に羞恥心に対して心を配るケアを意識し、ご利用者様個々にあった介助や安心して排泄できるようプライバシーに配慮した環境に努めます。

心地よく排泄できるようにご利用者様一人ひとりの排泄状況・リズムに合わせた介助を行うとともに、体調の変化にも迅速に対応してまいります。

排泄用品はご利用者様の心身の状態に適したものを使用し、できる限りトイレでの排泄を心掛け清潔な状態を保ちます。

	事業	内容	頻度
活動 内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年 1 回
	排泄ケアに関する事	・尊厳を守る排泄ケアの検討(プライバシー保護、トイレでの排泄検討、尿量に合わせたパッドの使用、オムツはずし等) ・排泄用品の管理(オムツの発注、コストを意識した対応) ・衛生管理(オムツ交換後、トイレ介助後の使用済み排泄用品の適切な処理)	適宜

### ★入浴検討委員

目標： 清潔の保持、新陳代謝の促進という目的ばかりではなく、心の安らぎや楽しみとしての効果があることを充分理解して援助いたします。安全性を重視し一人ひとりのプライバシーを守り、各ご利用者様にあった介助や浴槽を検討し心も身体も温まる入浴ケアの提供に努めていきます。

ご利用者様の満足できる入浴提供が、他の生活場面(対人交流・活動参加など)で意欲が高まる効果があることを充分理解して支援いたします。

また、加齢による皮膚トラブルが起こりやすいため、保清、保湿ケアに努めていきます。

	事業	内容	頻度
活動 内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年1回
	入浴ケアに関する事	・入浴ケア方法の検討(適切な浴槽の検討、ADL・浴槽に合わせたケア) ・入浴スケジュール管理(週2回の入浴及び清拭の予定作成、実績確認等) ・入浴用物品の管理(手摺、滑り止め、シャワーチェア、シャンプー、入浴剤等)	適宜
	整容に関する事	・整髪、髭剃り、爪切り、衣類のよれ・ほつれ、身だしなみ等を整えるための活動 ・病院受診、外出時の上着等の確認、準備	適宜

### ★褥瘡検討委員会

目標： ご利用者様の身体状態の変化を早期に発見し、褥瘡を作らないように努めてまいります。また、安楽な姿勢で過ごしていただく為に個々に合ったクッション等を随時検討していきながら皮膚トラブルが起きないよう体位変換、座り直し、保清、保湿、栄養状態等にも配慮していきます。

	事業	内容	頻度
活動 内容	サービス担当者会議	・事例検討	毎月
	ミニ研修会	・サービス担当者会議内研修	年1回
	褥瘡ケアに関する事	・褥瘡発症者及びリスク者の把握、対応方法の検討 ・ポジショニング、シーティングに必要なクッション等の準備、作成 ・除圧・ずれ、摩擦を取り除く方法の検討(シーツのしわ、ベッドメイク、エアマット、背抜き等) ・食事、水分、排泄状況を確認し、健康状態の把握・維持・改善アプローチを実施	適宜

### ★苦情対策委員会

目標： 寄せられた苦情はできるだけ迅速にその内容を調査し、結果を報告・公表します。苦情の処理にあたっては、誠意をもって速やかに検討し、対応及び改善に努めます。

### 【健康管理】

日々の健康チェックは看護師、介護職員双方で協力して行い、ご利用者様一人ひとりの身体状態を把握し、体調変化のあるときは、早急に対応してまいります。

健康管理に万全を期し、ご家族様にも随時、情報を提供していきます。

ご利用者様の自立を阻害することなく、身体機能を把握し、残存機能を最大限に活かせるよう、生活リハビリ



りを提供してまいります。

〔協力医療機関のかかわり〕

- ・嘱託医回診～週 2 回（外科・内科）
- ・入所者健康診断
- ・インフルエンザ予防接種
- ・町内外医療機関受診引率

### 【施設サービス計画（ケアプラン）】

ご利用者様の身体状態などを把握する手段としてアセスメント（課題分析）を十分に行い、全職員がご利用者様一人ひとりをよく知り、ご利用者様自身がその人らしい生活を続けていけるよう、全職員で創意工夫をしながら施設サービス計画（ケアプラン）を立案、実行していきます。実施後は達成状況を評価し、新たな課題や可能性を見出し、根拠に基づくサービスを提供してまいります。

ご利用者様自身が少しでも生きがいを持って生活できるよう、これまで継続していた事や楽しみにしている事、要望などを伺い、施設サービス計画（ケアプラン）に盛り込みながら実施してまいります。

### 【職員研修・育成】

私達職員は、ご利用者様一人ひとりに対しての基礎的な介護はもちろん、常にご利用者様の立場に立ち、職員がお互いに思いやりを持って、全員が心のこもった介護が出来るよう、豊かな人間性を備えた職員の育成に努めていきます。

職員はご利用者様そしてご家族様とのつながりを大切に、心をこめて思いやりのある、コミュニケーションを日々積極的に図っていくよう心がけていきます。

職員は、互いに共感できる心を養いつつ、自主的に計画性を持ち行動できる姿勢、さらには職員としてふさわしい行動がとれるよう研鑽していきます。

職員は、報告・連絡・相談を密に行い、情報の共有化を図ると共にお互いを尊重し、励まし合い、協力し合う関係作りに努めていきます。お互いの考えを認め、異なる意見を柔軟に受け入れ、補い合いながらより良い職場環境づくりを目指します。

ご利用者様及びご家族様に安心と満足を持っていただける適切な介護サービスを提供するためには、専門的知識や技術を習得できるよう、計画的に全職員で施設内研修や外部研修へ積極的に参加し充実を図ります。

また、自身の介護方法を見つめ直し、改善を図る事が出来るように自己点検を実施し、ケアの質の向上に努めていきます。

さらには、各職員が日々、積み重ねてきたケアの実践をその経過や成果、ご利用者様の想いを言語化し頑張っている取り組みを全職員が共感し合える場として実践発表の機会を設けていきます。

### 【地域社会との関わり】

地域住民の理解、協力を得ながら親しまれる施設運営を心がけます。

地域福祉の拠点として施設のその有する資源などを最大限に活用できるように和寒町及び他事業所とのネットワークを密にして、地域との交流や地域貢献に努めていきます。

「社協だより」を通して、施設の事業内容や取組状況等を定期的に掲載し、情報を発信していきます。

地域に開かれた施設作りの一環としてボランティアや実習生を積極的に受け入れます。

### **【情報の管理・公開】**

事業の運営状況及び介護サービス内容について、定期的に施設内において自己点検し、ホームページやSNS、苑だよりなどで情報公開を行い、より良いサービス提供に努めています。

また、個人情報の適正な取り扱いに努め、個人の基本的な人権を侵害することのないよう努めています。各関係機関との連携等において、個人情報が必要とされる際には、取り扱いに充分注意を払います。

### **【年間行事・研修予定】**

別紙「R2 年度行事予定表」・「R2 年度年間研修計画」のとおり